



空堀商店街に0歳から96歳までの総勢70人が集まり、ミュージックビデオの撮影を行った！
企画主催はアンコールプロダクションの代表、看護師の平岡史衣

（25歳）。看護師として病院で働く中で仕事が多すぎて辛かった新人時代、おじいちゃん・おばあちゃんへの温かい言葉掛けに助けられた。一方で社会との接点がなく生きがいを見失ったおじいちゃん・おばあちゃん患者さんともたくさん出会う。何歳になっても輝ける社会を作りたいと、生きがい応援ナースとして活動を始める。シニアファッションスナップや、健康ダンスを介護施設などを回り行う。何かしたいけど活躍する場がないというシニアの方と出会い、よりシニアの方に輝いていただきたい！との思いからシニア専門芸能事務所、「アンコールプロダクション」を設立。

先日「アンコールプロダクション」オリジナル曲とオリジナルのミュージックビデオの撮影を行うべく、クラウドファンディングに挑戦し、115万円の資金調達に成功。
大阪で介護施設を運営しているWelkate株式会社の「YouTube番組」の「介護あかるくらぶ」さんとコラボ企画で空堀商店街取材した際に、「NPO法人高齢者外出介助の会」さんの運営する、からほりさんにて代表の永井佳子さんと出会う！
そのことがきっかけで、ミュージックビデオの撮影を空堀商店街にて行おうということになった！エキストラの募集から、空堀商店街のお店を周り協力してくださる方を集め、10月2日にミュージックビデオ撮影を行った。
曲名は、「人生にアンコール、私たちの健やかダンス」。「アンコールプロダクション」のタレントさんの85歳前田正博さんと、85

歳の西村照子さん、代表のふうみんがレコーディングを行った。サビでは、「私たちが元気なら未来のみんなの希望になる。アンコール。アンコール。描こう夢を。始まる新しい青春。」と、シニアの方が輝く社会に未来への希望を抱く歌った歌詞となっている。ミュージックビデオは11月半ばごろに「Youtube番組「アンコールプロダクション」にて公開しました。空堀商店街のPRとして使ってほしい。期待してください。（看護師 平岡史衣）

<https://m.youtube.com/watch?v=z8luT9Wqrb0&t=216s>

0歳から96歳まで！ 空堀商店街で踊り舞う！

からほり新聞

第48号
(2020.1.14)

「空堀界隈を散策される皆様へ」

- ◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆美しい石畳や木造家屋に「ミ」は似合いません。
- ◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。



会のお知らせ

お年寄りの皆さんが、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って、支援活動や暮らしの潤いになる様々な企画を推進しています。

- 桃園会館 ☎06-6762-5599
 - ◆モーニング喫茶▶1月26日▶9時～▶参加100円▶コーヒー&紅茶、サラダ等
- 桃谷会館 ☎06-4304-2266
 - ◆キューピークラブ▶1月16日(木)▶10時～12時
 - ◆モーニング喫茶▶2月8日▶9時30分～▶参加100円～200円
- ひなたぼっこ▶1月26日(日)▶①13時30分～②17時30分～▶各45分鑑定料2000円▶ワンドリンク以上注文(鑑定料に含まず)要予約06-6768-1882申し込みください
- おもしろアート工作教室▶申し込みポーチカ▶1月13日(月)12時からランチ▶1時～3時3時から30分ティータイム▶今回はマトリョーシカ人形を作ります。

お買い物は空堀商店街で

☆編集後記

今回からほり新聞発行が大幅に遅れました。去年の12月に発行を予定していましたが印刷機が故障し修理をお願いしたら「これ直してもまた故障するし、部品もあるか保証できない」。ガクツとなり一挙に少し詰めればできると進めていたのが萎えてしまいま

今回何とかして思っていたのは、「まだ？」とか「楽しみにしている」など声をかけてくださって、こんなことで休刊できない。何としてでも発行をと気を取り直して進めました。
クラウドファンディングで何とか？と思ったりしますがパソコン堪能でないのです。どなたか知恵と協力くださると嬉しいですよ。

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは？

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤ハーモニカ教室
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階

TEL&FAX 06-6764-4002

月～金(10:30～15:00)

E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp

ホームページ: odekake-karahori.com

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってくださるお店も大募集。
「からほり新聞に参加したいな」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在55力所設置)

マリンバを楽しみませんか？

毎週木曜日「からほりさん」で教室をしています。
見学・体験(1回)大歓迎!!
詳しくは外出介助の会でお問い合わせください。

指導：北口 桂

広告掲載のお願い

からほり新聞に広告を出しませんか

①1コマ 縦49mm×横79mm 3,000円

②1コマ 縦33mm×横79mm 3,000円

* 原稿、データ(ロゴ等)をいただきましたら、こちらで作成させていただきます。

連絡：TEL・FAX 06-6764-4002

海軍飛行予科練習生を志願して

泉 一豊さん [昭和3年生]

昭和16年に始まった太平洋戦争は2年目に入り、16歳の中学生(5年制)だった私の学校にも軍隊から派遣された将校さんが、戦意高揚の演説をしたり、軍事訓練と言って鉄砲を担いで走らされたりしました。そして「予科練」に志願せずにはおられないような空気になっていきました。体の悪い人を除いて殆どの人が志願したと思います。

18年の8月、3000人程が家族に見送られながら上六を、恵美須町にと向かい、夜米子と境港の間にある宿舎に着きました。ここには宿舎が24棟もあり、1万人が収容できました。

予科練での生活は5時半の起床、整列の後練兵場へは駆け足。階段はいつも二段ずつ、何処へ行くのも駆け足です。食事中は

モールス信号での伝達でした。訓練は手旗信号、特に厳しかったのが短艇訓練。どんな事でも競争させられ、負けたらきつい罰則が待っていました。何があっても連帯責任をとらされ、一人の責任でも班員(40人)全員責任。罰は兵舎の周りを3周から5周、時には「精神注入棒」お尻を叩かれましたが、私たちは誰かのせいにしてたり、いじめたりはしませんでした。

一年ほど経った時、島根県の莊原に派遣隊として転属。早く飛行訓練を、と心ははやりました。情報も物資もありません。土方どかた訓練生として足袋にツルハシ、シャベルを担いで滑走路、誘導路を造りました。これは味方の飛行機が敵に見つからないように民家の軒や森の中へ

誘導する道でした。機械は使わず全て人間の手で造り、一つの山をなくす位切り開いたり、トンネルも造りました。

その後、長崎の川棚特攻隊に移動。特攻隊には、神風、回天、桜花、震洋艇、伏龍とありましたが、もう船も飛行機もなく、「ベニヤ板」で作った震洋艇と伏龍しかありません。

私は伏龍隊として訓練に。伏龍とは潜水服を着て、お腹に爆弾を巻いて敵の船に突っ込んで行くのです。背中には酸素ボンベを二本と、空気清浄機缶を背負いますが、その頃は酸素ボンベも不良品が多く、ボンベ無しで命がけの訓練でした。水中に隠れていて、敵船が来ると浮上して自爆するのです。又敵が上陸用舟艇で来た時の為に、海岸



幸せの種類

高齢者外出介助の会 事務局長 永井佳子

今日も電車の中で読書。ハウツー本なのですが「なんでここに私がいる?」そんな経験ありませんか。私は時たまあるのです。

例えば、面白そうなチラシを見て講演会や講座に。時に義理で行くことも。時々そんな時どうしてここに来たのだろう。身の程わきまえないで参加したと不安になったりします。

そう感じたら「自分しさがみついている。」とこの本は言うのです。

囚われた心を開放するには自分を投げだし内向きの目を外向きに、その場の誰かの応援に回って、幸せと思えるものを見つけたら。

これを少し自分流にまとめてみますと、確かに

行ったところで違和感でがちがちになった時の対処法。その場で幸せを見つけると良いというのです。ここで気が付いたのは、子供の時そんなに言われても、経験が少ない分見つからない。若いときも自意識などに囚われてできにくい。この年だからできるようなった。そう思うといい言葉に出会ったと朝から感動。今まで生きられたことも幸せ。ごちゃごちゃあるけど、しぶしぶでも出かける場所があるのも感謝。数える限りなくあるのです。歳の功と言えるのも素敵。小さなことから大きなことまで思い描き、幸せを見つけ感謝できるって良いなと思うと、今日はすごいハッピーな日になりました。



車椅子から眺めてみれば

今、おじさんは長く入院していて、既に半年くらい病院生活をしていきます。

褥瘡(じょくそう)と言って、車いすの人や寝たきりの高齢者などによく起こる、病気というよりケガに近いものです。身体の一部に体重が掛かりすぎると、血液が届かなくて細胞が壊れ死大変な事になり、治すのにとても時間が掛かるのです。そんな訳で、しばらく世間から姿を消しているのです。

しかし、世捨て人の様にはなっていない。今の病院はテレビはベッド毎にあり、スマホが自由に持ち込めるので、電話もメールも自由に出来、ネットでも世間と繋がっているからです。

新聞は各社がデジタル版を、朝・昼・夕の三回

健康アドバイスとダイエットのお手伝い!!
体によい食事してますか?
病も肥満も食生活から!お気軽にご相談ください。
健康チェック&オリエンテーション初回¥2,000のところ「からほり新聞を見て」と言っていただければ無料でさせていただきます。

ウェルネスコーチ 門脇裕子
大阪市中央区谷町5-6-5-1001
TEL080-3117-6684 (要予約)

地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願い致します。共同募金は、10月1日~12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入ルの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧ください。http://www.akaihane-osaka.or.jp

からほり界隈お散歩MAP

皆様のからほり地域の情報をお知らせください！



其の44

～空堀 新たな発見と出会い～

今回は何か面白いもの、気が付かなかったものを探して空堀を歩きました。きっかけは瓦屋町の一角に置かれていたコンクリート製の恐竜。飾りにもなっていないのに。さらに探すと路地の中にガスメーター群が。アヒルの親子の置物が家の前に。桃園公園で見つけた平成天皇が結婚されたときの記念樹。なんとも歩いていて初めて気が付きました。

取材：ケラ子
MAP作成：山本のぶゆき



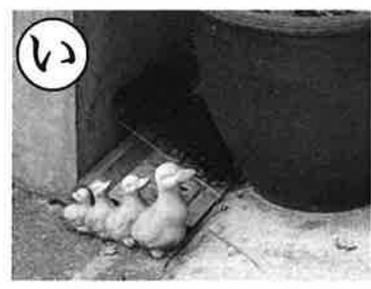
◀ ガスメーター群がテントウムシの冬ごもりのように着いています。



◀ 木の幹が横に長く伸びてやはり上に向かって伸びています。



◀ これも。旧ヤム亭の前に置かれた鉢植え。こんなになじ曲がってどうしたの。



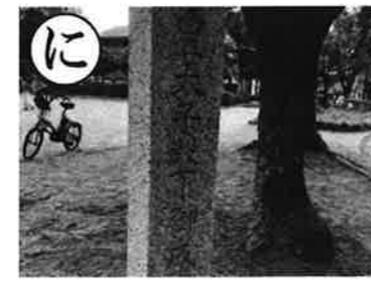
◀ これも路地奥になんか捨ておけず可愛い！



◀ 野坂昭如、蛍の墓にも出てきたサクマ式ドロップですね。ここにあるって嬉しくなりました。



◀ 玄関の先に恐竜。誰が何の目的で作られたのでしょうか。



◀ 桃園公園で見つけたご成婚記念碑。どこの団体がここにしたのでしょ。